



OMAEZAKI



仲間とともに、お客様とともに

TOP TEAM を目指して

日本の貨物輸送を
支える、内航海運業
の革新を目指して。



船が広げる輪で新たな価値を 生み出し、お客様と社会、そして 社員の夢を形にする

御前崎海運が目指すのは「夢を形にする」世界です。
御前崎海運が関わる人の新たな夢を繋いで形にしていく、
そんな世界を実現します。

私たちは、人を繋ぐ物流で、世界中の人との縁を繋ぎ、ビジネスの可能性を広げます。「この天候では難しい」「荷役時間に間に合わない」「機関にトラブルが発生した」。船にトラブルはつきものです。

どんな状況であっても、私たちは「安心」「誠実」「確実に」
貨物をお届けするために、知恵を絞り、汗をかき、お客様の
ためにベストを尽くします。

そして、多くの人々が船を通じてビジネスと人の輪を広げ、業界の垣根を越えて航路を創造し、新たな価値を生み出していく。私たちは、この経営理念への船旅を楽しみ、自分たちで限界を決めることなく挑戦し続けます。



代表メッセージ



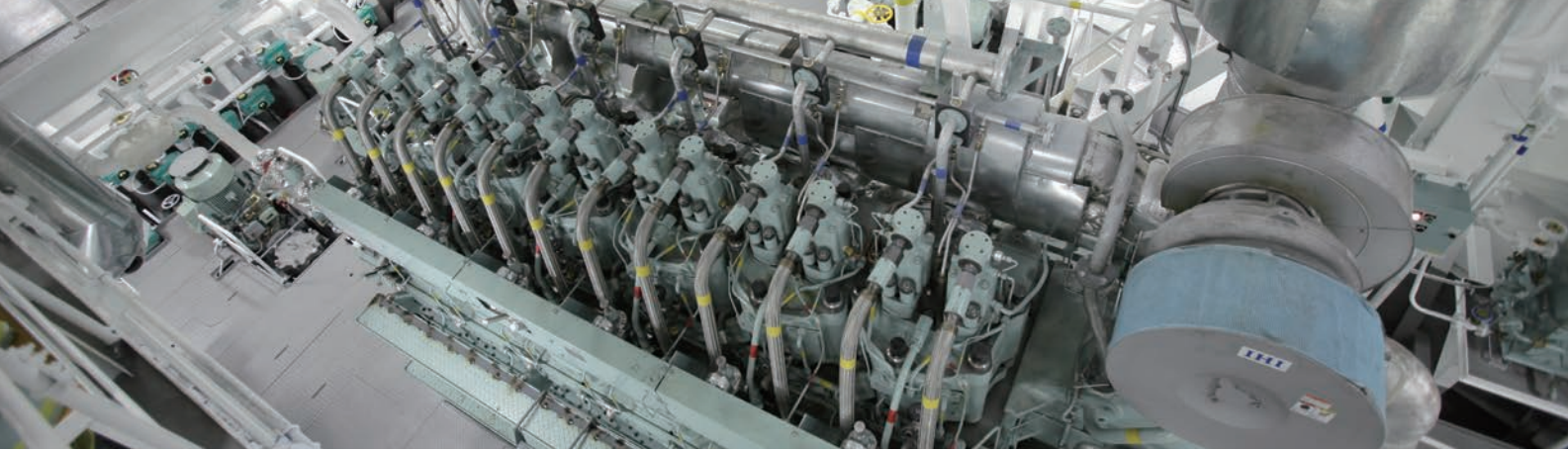
代表取締役
小池 裕治

我々の内航海運業は、産業基礎物資の約8割を輸送するなど、我が国の経済活動にとって必要不可欠な輸送機関ですが、船舶の老齢化が急速に進んでおり、今後も安定的な輸送量を供給し続けるためには、代替建造の促進が喫緊の課題となっています。

そのためには、事業者自らが将来のビジョンを描き、実行することが求められています。弊社は、『企業力の強化』、『地球・海洋保全の対応』、『新規ビジネスの創出』の3つの視点から積極的な改革を行い、国内はもちろん、アジア諸国の情勢も視野に入れた長期ビジョンを描き、我々の夢の実現に向かって全力を尽くしてまいります。こうした中で、重要になってくるのが『人材』です。

現在、内航海運業及び造船業は、就職者の高齢化が進んでいます。経験者の確保はもちろん、若者の育成も急務の課題として、グループ全体で取り組んでおります。

これからも荷主様のビジネスパートナーとして信頼される企業、従業員が今まで以上に安心して働けるやり甲斐のある企業を目指し、総力を挙げて改革を進めてまいりますので、今後とも一層のご理解とご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。



BUSINESS

事業紹介

安心・安全な内航海運への取り組みによって
持続可能な経済活動と環境保全を目指す

船舶オペレーション

御前崎海運は、主にガット船を保有し、自社所有船32隻(56,152 重量トン)、その他23隻(48,830 重量トン)の備船と合わせ、ガット船団では、国内最大規模の積トン数(104,982 重量トン)を擁して、全国各地に配船運航しております。

荷主様からご依頼いただいた品物を常に安全・確実に運送するため、日々、各船舶へ動静確認を行い、荷主様へ報告しています。

航行時の天候や船舶の状況等による突然の予定変更にも素早く対応できるよう、気象状況の確認、運航ルートを検討し陸上からサポートしています。また、効率的な運航ルートを提案し、お客様から高い評価と信用を頂けるようオペレーター業務に注力しております。

船員育成



船員の高齢化、将来の船員不足問題が現実化しており、年間300人が不足すると試算されています。弊社はその状況下において、160人を超える船員が在籍しております。

教育機関、機器メーカーからご協力をいただき、海技免状取得のためのバックアップ、ガット士育成プログラムなど、人材育成に努めております。日々の業務・技術改革はもちろん、社員のオフタイムの充実化や福利厚生にも力を入れ、より働きやすくなりがいのある環境づくりを目指しております。

船舶エンジニア

緊急時に対応するエンジニア部門では、船員への安全指導だけではなく、定期的な訪船などの保全活動を行い、無事故を目指しています。孤立する海上での船舶のメンテナンス・緊急時の対応は、遅れが生じると大惨事につながる可能性もあります。陸上から素早く対応する技術者育成に積極的に取り組んでおります。

今後は、陸上から内航船の推進機関の状態等を遠隔で監視・診断・指示対応することにより、機関の安全管理の高度化、最適保守管理及び省力化を図ることを視野にいれております。



INTERVIEW

インタビュー



氏名：M 入社：2016年 部門：営業部 オペレーター

全国を行き交う船をサポートする仕事にやりがいと責任を感じます。

現在の私の業務は、船の運行スケジュールをたてたり、船が円滑に予定をこなせるように陸上からオペレーティングをする業務に始まり、お客様から荷物をいただけるように営業して、新しい航路を作ったりなど、さまざまな業務を行っています。

船長をはじめ、船員さんと一緒に予定を組めるようになり、お互いに切磋琢磨できる関係を築け、やりがいと責任を感じれるようになりました。



氏名：S 入社：2021年

部門：運航営業事業部 運航営業部 配船運航室

業界未経験でも安心して働ける教育体制や環境サポートが充実しています。

海運業はまったく初めての業界で最初は不安でしたが、業界未経験でも、丁寧な教育体制でサポートしてもらえるとわかったので、安心して転職を決意できました。

現在の業務は朝の各船の動静確認から始まり、順調に航海しているか荷役に遅れないかなど荷主様に報告します。上司に相談しながら配船（船の予定を決める）をしたり船の給油の手配を行うなど、到着する港の1つ1つの荷役方法の確認や時間を把握して、航海時間を考え遅れないようにしています。

氏名：T 入社：2021年 部門：工務室

新人の技術教育サポートが手厚く技術スキルを常に高めることができます。

御前崎海運は社内がワンフロアなので、配船の方とも情報共有しやすく、仕事がとてもしやすい環境です。

京浜地区は訪船して船員さんにごあいさつする機会が多いので、工務室は陸側船側のコミュニケーションがとりやすく、船員さんも優しく、すごく気を遣ってもらっています。

会社全体がアットホームな感じで自分の意見が上司に伝えやすいことが御前崎海運の魅力ですね。



SHIP

運航船舶

国内規模最大のガット船団

荷主様の多様な要望に対応できる体制を構築

建造実績

安定的な輸送量を供給し続けるため

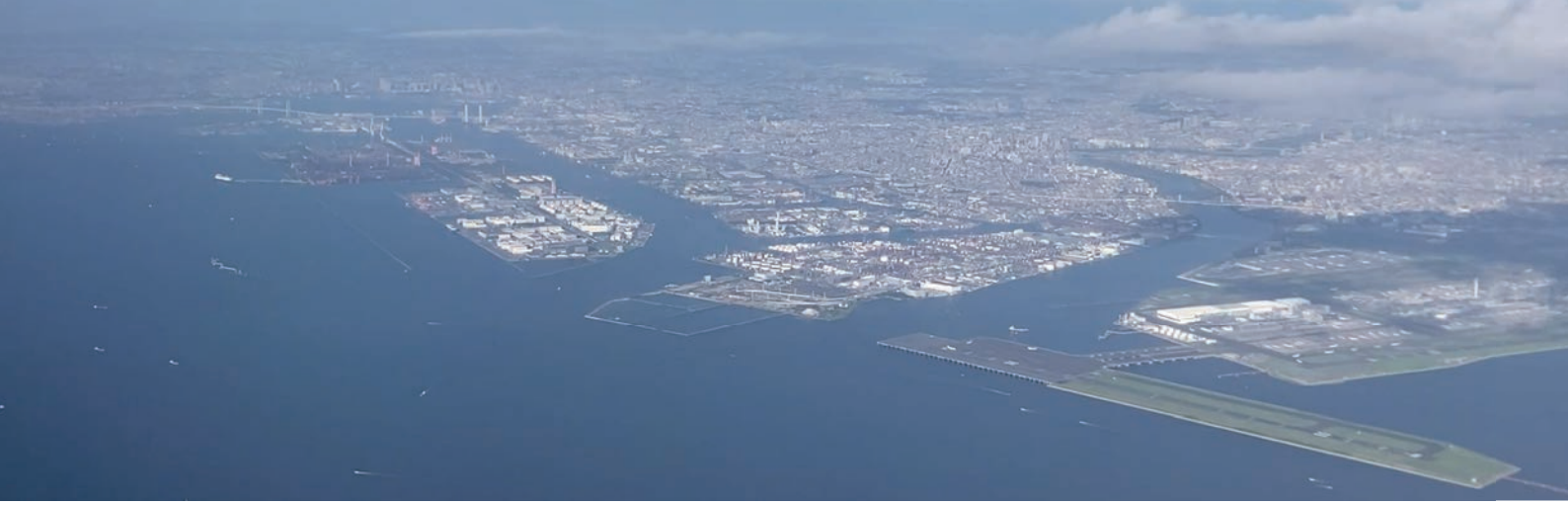
弊社はグループ内に造船所を有し(小池造船海運株式会社)、新造船の建造及びメンテナンスをグループ内で行ない、事業の相互補完体制を整えております。船舶の老齢化が進む経済情勢の中、安定的な輸送量を供給し続けるために代替建造を積極的に進めております。

自社所有船舶

船名	G/T	D/W	竣工年月
第十二英裕丸	499	1730	2023年4月
那智	499	1707	2023年3月
橙星	699	1980	2022年12月
第十一英裕丸	499	1730	2021年11月
第十英裕丸	499	1730	2021年7月
紺音	699	1980	2021年2月
第十一興徳丸	749	2350	2020年5月
三晴丸	499	1710	2019年11月
第八英裕丸	499	1730	2019年5月
大惇丸	499	1650	2017年6月
第七英裕丸	498	1730	2017年3月
夢前丸	462	1400	2016年10月
第六英裕丸	499	1750	2015年6月
進朋	749	2350	2012年12月
大晴	499	1730	2012年7月

船名	G/T	D/W	竣工年月
第五英裕丸	499	1750	2012年4月
博勇丸	499	2095	2011年6月
皇永丸	699	2100	2011年1月
興徳	497	2095	2010年7月
第十一白砂丸	749	2150	2000年8月
福興丸	498	1580	1998年1月
光洋丸	499	1540	1997年11月
富栄丸	686	2100	1997年6月
天旺丸	733	2150	1997年6月
第十興徳丸	749	2100	1996年12月
第二十五豊玉丸	499	1531	1996年11月
神峰	493	1700	1996年4月
第三十八住若丸	497	1500	1995年11月
第三大晴丸	497	1500	1994年8月





航路案内

日本の産業を支える海の大動脈

国内における最大規模のガット船団を配備し、多様な荷主様の要望に対応できる体制を構築し、平水区域、沿海区域、限定近海区域内、近海区域（A2水域）内、すべての港間の物流を請負、輸送を行っております。

経済・産業の変化にともない、輸送貨物の品目も多様化しています。大小様々な積みトン数の船舶、隻数にて、多品種の貨物輸送を行い様々な輸送ロットに対応しております。

北海道から沖縄までの日本国内各都市間を運行し、日本の産業を支える海の大動脈の一翼を担っております。

物流分野におけるCO2等の温室効果ガスの排出量削減等の環境負荷低減や物流の生産性向上等の持続可能な物流体系の構築のためモーダルシフトが推進されるなか、船舶での安全輸送は環境保全の職務を全うするものとして、積極的に事業を推進しております。



自社所有船舶紹介



第十二英裕丸



那智



橙星



第十一英裕丸



第十英裕丸



紺音



OMAEZAKI

<http://omaezaki-kaiun.co.jp/>

御前崎海運株式会社

代表取締役	小池 裕治
東京本社	〒105-0013 東京都港区浜松町1丁目26番4号G LINE浜松町BLDG.3階 TEL:03-6403-1881 FAX:03-6403-1882
広島本店	〒725-0301 広島県豊田郡大崎上島町中野 5929番地 TEL:0846-64-2778 FAX:0846-64-2801
OOSAKA OFFICE	〒552-0021 大阪市港区築港3丁目7番15号 港振興ビル2階205B号室 TEL:06-6567-8387 FAX:06-6567-8397
YOKOHAMA OFFICE	〒221-0033 神奈川県横浜市神奈川区鈴繁町4番地 鈴繁埠頭内第二管理棟1階C事務所 TEL:045-577-0155 FAX:045-577-0156
KISARAZU OFFICE	〒292-0801 千葉県木更津市請西2丁目1番5号 TEL:0438-97-6460 FAX:0438-97-6461